

北の物販倶楽部 謁見音声 書き起こし資料

2015年1月5日 謁見収録 No.02



はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。



北野会長：

うん、孔明さん、何かあんた、こっち来てから気を吐いてないからね

真田 孔明：

はい

北野会長：

山へ上がったたり

真田 孔明：

笑

北野会長：

海へ行ったりして

真田 孔明：

トレーニングを 笑

北野会長：

怖い人やから

真田 孔明：

いえいえいえ 笑

北野会長：

ほいで俺、全然英語わからないから

真田 孔明：

はい

北野会長：

見てもコースメニューみたいなの、言った？

真田 孔明：

あ、まだ何も言ってないです

北野会長：

本当・・・んで

真田 孔明：

今日のコースは、これみたいですネ？コースは

北野会長：

あ、本当

真田 孔明：

はい

北野会長：

それじゃコースにした方がいいんじゃないの？

真田 孔明：

はい、わかりました

北野会長：

どう思う？

真田 孔明：

そう思います

北野会長：

コースは間違いないよ

真田 孔明：

はい、フィッシュコースか、セカンドコースは、何だこれ？え～

北野会長：

あんたね、理解するよりも注文した方が早い

真田 孔明：

はい

北野会長：

何でもいいやない？

メンバー：

笑

真田 孔明：

コース

北野会長：

孔明さんと話してみると、ねえ、本人は四の五の言わずってよ

店員：

ワインつき？

真田 孔明：

ワイン

店員：

ワインつき？

真田 孔明：

ワインつき

北野会長：

ワインつきOK？ みんな、相手の方がよく知ってるんだから

真田 孔明：

笑

メンバー：

笑

真田 孔明：

ハワイはね、もうこっちが下手に英語で気、遣おうとすると、向こうは日本語で言ってきますよね

一同：

笑

北野会長：

でもほとんどそうよ？

真田 孔明：

うん

北野会長：

うん、だからあんまし、心配する事はないやん

真田 孔明：

うん

メンバー：

そうそう

北野会長：

俺なんか中国語はもう韓国語も英語も、全くしゃべられないけど

メンバー：

ええ

北野会長：

ねえ、まフランス行ってもスペイン行っても、もうこれだけで十分やん

真田 孔明：

ジェスチャーですか？ 笑

北野会長：

そうそうそう

メンバー：

街歩いてても聞こえて来るのは日本語ばかりで

北野会長：

ねえ

メンバー：

うん、日本の41番目の都道府県な感じに近い

北野会長：

そうそうそう

メンバー：

看板もすごいっぱい

真田 孔明：

やっぱハワイは、毎年1回、ちょっと来たいですね、ここはね、う〜ん、毎年1回、アメリカ国内では、楽ですよ

メンバー：
そうですね

真田 孔明：
う～ん

メンバー：
6月ぐらいに行く、遊びに

真田 孔明：
ああ～

北野会長：
シアトルから？

メンバー：
はい

北野会長：
ほお～、それでシアトル、どこにあるの？

メンバー：
ロスアンゼルス

北野会長：
うん

メンバー：
のちょっと上の方、カナダ寄りの方

北野会長：
あ、カナダ寄りの方に

メンバー：
カナダの国境ぐらいですね

北野会長：
ああ～

メンバー：

カナダまで車で2時間くらい

北野会長：

本当

メンバー：

はい

北野会長：

あんた、大金持ちになったら、また、あの甘い人紹介してくれ、いや、金ってのはだから、どういうの？人と人を会わせる力を持つとるから、楽やよ？本当に、富士山も高い、エベレストも高いかって、なかなかあれやろ？地球（地形）の関係上会えない

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

近くたって・・・人は人とは楽でさ、飛行機乗れば誰とでも会えるから

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

そういう軽い考え方で、ものを考えると、楽、私は絶対そう思います、いやこれは、あの～、ね、あなた達が勉強して来た事とは、全く違った世界やと思って聞いてね、ね、これが正常な考え方じゃないやろ？ね、私がこう何か、孔明さんにね、動くな働くなとかさ

真田 孔明：

笑

メンバー：

笑

北野会長：

しょっちゅう言っとるんやけど、わかってないんやて、言っても 笑

真田 孔明：

笑 すぐ働いちゃう

北野会長：
そうそう

真田 孔明：
笑

北野会長：
それで俺と会っておそらく

真田 孔明：
はい

北野会長：
5分ぐらい経って部屋帰って（仕事）

真田 孔明：
爆笑

北野会長：
だから、動くな動くなっていうの、これが基本だからと

真田 孔明：
笑

北野会長：
でもね、ものすごく簡単や、だけど

真田 孔明：
うん

北野会長：
すごく難しい事

真田 孔明：
うん

北野会長：
遊んで飯食うわけだから、ね、だから、まあそこらは、皆さんのTPOに合わせてさ、ね、働く時は働くぞと

真田 孔明：

うん

北野会長：

でもハワイ行ったら、こういうバカな奴と会って、何かバカな事を、ね、でどこかで自分で首が折れて来るから、胴体と、ね、首がこっちにあって、胴体がこっちにあるとかさ 笑 これ、なりがちなんやで？ね、それでよく、あの～どういうの？あの～サイト、この間ちらっと読んだら

メンバー：

はい

北野会長：

どういうの？皆さん、ほら勘違いしてる事あるやねん、俺は何を勘違いしとるかっというと、日本には1,650兆円の利益がもたらして、ね、山積みになってると、んで国が1,000兆

メンバー：

はい

北野会長：

ね、借金があると

メンバー：

はい、はい

北野会長：

ここまでは覚えとるでしょ？

メンバー：

はい

北野会長：

ね、1,650から1,000を引いただけの話や、ね、でここからが、皆さんを惑わす言葉を使っとる、ね、1人あたりに直すと800、800万、借金しとると書いてあるでしょ？ あれ正しいの？正しいの？いや、そりゃ割り算すれば、大体おおよそ計算は合っとるやけよ、おおよそ、ね、2、4、6人、いや俺は間違いなく、国から800万もらってないから、もらってない、俺は・・・あんた等もらった？800万？誰か？

北野会長：

もらった？

メンバー：
もらってないです

北野会長：
じゃあおかしいやねん、今の？ね、あれは国民が払う話でしょ？我々が？と、こう、こきっと曲げてあるわけよ、ね、あの文章が日本で最大の他人事って言われとる、他人事、最高の他人事よ？あれを、誰が書いたか知らんよ？あんなバカな事を、でも孔明、絶対ここから先は

真田 孔明：
はい

北野会長：
ネットにも書いたらあかん事よ？

真田 孔明：
うんうん

北野会長：
あとはこう、書きまくとやられるわ

真田 孔明：
おお、おお、おお

北野会長：
ね、ま中国で言う、いらんやつは、どんどん持っとけと、こうなるやん、でこういう事を、あんま言う人いないやん？誰もおらんわ、もらった事ねえなんて誰も、日本で誰一人あれに、文句をつけた人いないんやから

メンバー：
うん

北野会長：
おかしくない？

メンバー：
はい

北野会長：
俺はもらっとらんよ？皆さんはどうかは知らんけど 笑 言葉はそういう事よ？

真田 孔明：

一番もらってますから、助成金で 笑

北野会長：

ま、一番のおおまかな間違いそこ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

それでもっとひどい事は、あの〜、1,000兆の借金あるやろ？ね、皆さん、頭の中、みんな叩きこまれた、あれは各新聞、所々にみんな、ね、こう書くわけよ、ね、それでさ、その見た新聞、読売から日経からこう見た人が、ね、こそって、「ああ、俺は800万借金あるんや」と思っ
て、ね、国が1,000兆、俺が800万、どうしよう？今あるの？借りでもない銭を？そやろ？ところがおかしいやろ？間違ってるって考えると、表と裏が合わんでしょうが？表が1,000兆や、で裏へ返したら、国民800万や・・・何一つそんな話やない、でこれをサイトに書こうもんなら、やっぱ、ね、チャカ持って飛んで来る人が出て来るよ

真田 孔明：

笑

北野会長：

だ、気づけんと・・・で日本は、ここ日本人あんまおらんから大丈夫やけど、1,000、1,000兆、の金をどこへ運用しとるか？日本の国が？皆さんは思っとるやん？社会福祉と道路建設と、飛行場を作って、お前そんなもんで1,000兆お前、計算したら、どっかでつじつま合う数字が出て来るの？日本にこんなたくさん弁護士の免許持った人がいるのに、誰もそこをつついた人がいないっていうのは、こう日本の矛盾や、だから誰も叩けない、怖くて、怖いから叩かない、で日本はその1,000兆をね、まあ日本が勝ちいいんやな、ね、だからあんた達知っとるやろ？日本の父ちゃん？さっき誰か言ったよね？52番目の州？ね、父ちゃんはアメリカやん、あの道楽の父ちゃんが、母ちゃんから半分は金持ってって使っとるわけよ

真田 孔明：

笑 わかりやすい

北野会長：

わかる？ 笑 あんた住んどるあの父ちゃんが、道楽やろ？ね？ほう、半分ぐらいは使っとるわけよ、そこに、でもっと恐ろしい話教えてやるけん、アメリカの日本が貸しとる国債は、アメリカこんだけ借りとるんやね？ね、こう、去年も、年度3月31日にこれを返すわけよ、ね、でこれ4つになったでしょ？1つ減ったじゃない？ここで言う訳よ、父ちゃんが、「母ちゃん、

母ちゃん、お前、ね、近所にでぶのおじさん、おるやろ？」と、「ありや危ないから、母ちゃんを守る為に金があるんや」と、で日本はつけるわけよ、ね、ちょっと、防衛費もちょっとかかるから、もうちょっとチップ抱いとけ、どっかタカの、ね、北の方やらにも、変なおじさんおるよ

真田 孔明：
笑

北野会長：
ね、あれにもちょっと、お金かかるよと、こういう具合よ、ちょうひっくり返してみると、やくざがゆすりをかけとるような話でない？「お前、俺、店守ってやるから、お前金出せ」、とは言わないだけの、きれいな話やろ？あれ？きれいな話、でもアメリカが借りたお金は、どんどん増えていくね、ところが日本の国は、本当はこれだけやとるん、ここにも、5つ、コップが、ね、残った、まだ500兆、ね、だぶついとる銭がある、ね、「ブラジルのあんた、2つほど借りんかい？、利息12,5%や」、「トルコの人、10%で貸したるわい」何やとる？ファイナンスやとるんやないかい

一同：
笑

北野会長：
その、本当はみんな、は見とる、数字は、でも理解がしてない、って屈折された映像を残してあるから、頭の中に・・・わかる？詐欺や、俺から言ったら、ね、もっと面白いやつ出とるから

メンバー：
はい

北野会長：
日銀の総資産みりゃ、日銀、今世界で一番ね、世界中が一番怖い人、ね、日銀の、あのメガネかけた人ね、あんたもメガネかけとるけど、あの人、あんた真面目な顔しとっけど、日銀のおじさん見てみな？今までは日銀の総裁言うたら、ほとんど真っ青な顔しとった

真田 孔明：
笑

北野会長：
で言葉も、ぼそぼそぼそ、ま、これくらいやった、今の日銀の総裁の顔、テレビで見たら、どんな顔しとる？にたあ〜と歩いとるやん？いつも？

一同：

笑

北野会長：

ええ？あの人は人を食ってしまって、食っとるわな？ああ、もう国民や庶民なんて関係ない、国民の総資産

真田 孔明：

はい

北野会長：

何でも大体答えがわかっとるんや、300兆ね、「何で300兆、お前持っとるんやい」って聞いたら、「いや、日銀は国債買い入れたんですよ」と、いっぱい新聞出てない？日銀が国債買い入れて、銀行へ玉をとめとる、銀行には回さんが、あのおじさん、ね、日銀、国債を取ったんやろ？国から？国債あるやろ？紙？を取ったん、300兆、ね、どこのネット見たって全部資産で出とる

真田 孔明：

うん

北野会長：

という事はお前、借金が資産とイコールしとるいう事やろ？皆さんわかる？貸しても・・・まあ俺のところで、貸して貰ったって言う

メンバー：

笑

北野会長：

ね、だから

真田 孔明：

失敬した、借りたものはもらったと・・・

北野会長：

もらったや 笑 返さなきゃもらったのと同じやから、そんなにね、金の事で心配する事、金は貸してもらったら、もらったんやから、もらったも同然、あとはアメリカの原理で、ね、電車のとんぼを返したら、こっちにしっぽにまた借りてくれ、一緒や、汽車の長さはいつも一緒やで

真田 孔明：

元本がだから永遠に残ってるっていう

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

返し続けても・・・

北野会長：

そりゃあまあ、うちの会社ではね、大体コンマ5からコンマ7や、日銀の仕入れがね、0.4を割った

メンバー：

うん

北野会長：

この間、0.39いくつになった

メンバー：

うん

北野会長：

それでまださやあるやろ？ね、で一番、この世界が何で日銀を怖いかと言うと、あのおじさんは何でもする、ま、ぱっと刺さないとかさ、そういう事はしないけど、ね、だからたとえば、日本がこう空売りかけて儲けてやろうとかさ、そういう人達今までたくさんいた、もうそういう事できないやん、おじさんが「お、じゃあ売りもん出た、買っとけ」って言うだけで終わり、たま300兆持っとるんやから、あなたも（メンバーの一人）だいぶたま持ってるんじゃないの？

メンバー：

え？

北野会長：

だいぶたま持ってるんじゃないの？

一同：

笑

北野会長：

いや3兆ほど抜いて 笑

メンバー：

日銀総裁のその行動って、アメリカは何も言わない？

北野会長：

あ、あのね、だからこれをね、称してアメリカの人達が怖がってるのは、どういうの？やんちゃやる？あ、本当はね、もっと元の話があるんやで、アメリカに貸したお金を返してくれと、ね、って言うんやで、で返す言うたら、ね、今までこう5つをこう並べ変えとっただけなんやで、アメリカにしたら、ね、だから100兆を返して120兆取ってくと、ね、ここで日銀の総裁が変わったわけや、ね、でこう、ちょっとやんちゃな人やから、ね、あ～そこまで言うんなら、ね、ちょっと、ま、痛い目見せてやろうかと、ね、そこで何？何、まあみんなは知っとるやん、ね、「おい！印刷機で刷れ！」

真田 孔明：

笑

メンバー：

笑

北野会長：

そやる？だから印刷機で刷れ、言うただけやん

真田 孔明：

量的質的金融緩和ですよ

北野会長：

ね、あれでびびったわけよ、でそれを何とヨーロッパとアジアに向けて発信したん、おじさんが先に・・それアメリカには内緒やったの、でアメリカはそんな話だけ、バーナンキか何かが聞いてさ、飛び上がとったわけよ、ね、そんな事を、ね、ロスチャイルドじゃあるまいし、ロックフェラーじゃあるまいし、そういう事勝手にさせるわけにいかん言うたんや、ね、おじさんは言ったや「俺、金持ちやから、銭あまっとるから」、印刷しまくるよ？んな孔明が言う70兆、80兆、100兆も一緒やで、ボタンさえ押しときゃ

真田 孔明：

笑

北野会長：

1万円札どんどん出て来るんやから

真田 孔明：

笑

北野会長：

こう言ったわけよ、これでもう世の中変わってしまった、でこれが何か、安倍さんが、ね、一説では、日本がああ、オリンピックに向かって、ね、とりあえず今のところ、150～160円が妥当やと思っとる、って言って、ね、「おたくの国は頭おかしくなったんじゃないかい？」って言うたら、「いやでも、うちの日銀の親方は、240円が、240円が相当でないだろうか」と

真田 孔明：

ええ～ 笑

北野会長：

と、言ったと、これが1991年のああのバブルまでね

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

通貨が240円やったんやと

メンバー：

ああ～

北野会長：

ね、だから元に戻しましょうよと、そしたらアメリカがお前どれだけの金だなんとならん？だからどっちがこのレース勝つかっていうのは、わからない、まだ

真田 孔明：

うわあ～、アメリカの指示に従ってやってたわけじゃないんですね？これ？じゃあ

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

わあ～違うんだ

北野会長：

んでもう1つは、皆さんよく知っとる中国にもたくさん出た、日本の企業が、アジアにもたくさん進出した、その時は円高の方がいい、円高の方が強い円やから、今、もう終わった、今もうそういう投資終わった、大体、戻せん、貸した金も、ね、貸した金もどんどん増える、何もしなくても5割増えてるんや

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

頭いいやろ？おじさん頭いいわけよ、で、アメリカが今、アジアに向かって金、ね、金融引き締めで金出す言うたや、おじさん言うると、アメリカが、「一番貸しとるのは私やから、あんた達何〜も心配せんでもいいよ」と、タイもどこも、本当に、関係ない、どんだけでもうちが供給してあげる、昔、あの〜、どういうの？アジアで通貨危機起きた時に、金出したの誰やった？昔も今も一緒、「うちの母ちゃんが、どんだけでも金刷って出すから」と、この一言でみんな、こう生き延びとるわけよ、ね、だからあの〜、今、孔明さん書いとるファンドでもさ、ね、そう、え？これそう？ね、香港の人で調べてくれ言ったっていう、あったやない？

真田 孔明：

ああ〜、あれ調べたのは、サブロー君ですね、うちの

北野会長：

あ、本当？

真田 孔明：

はい

北野会長：

そういうね、二重、三重、四重の利回りがあるの、ないのね、香港に・・

北野会長：

あ〜ん、んでじゃあ、アメリカならあるんだろうと思って、アメリカのリストを開いてもないの、ないの、じゃあ何で、何でこういうリストが出たかとしてとくに問題があるんわね

真田 孔明：

うん

北野会長：

んで私はこの間から、それを何人かこっちの知り合いに 聞いたら、銀行とかさ、証券やってる人に 聞いたら、違うんやと、それで何が違うかって言ったら、その、普通はたとえばリートって言ったらさ、ビルをこう買って束ねて、ね、ETFは株の名前をそろえてこう作るもの、日本はブラジルにお金を貸して、ね、それでこのお金でまず金利を取って、んでこのリート、ビルを買って、分配するんや、ね、これは正式な商品じゃないん

真田 孔明：

笑

北野会長：

わかる？これはやんちゃな商品や

真田 孔明：

やんちゃな商品 笑

北野会長：

やんちゃだけやと、日本のやってるのは・・・

北野会長：

誰が、誰が何かその、世界状況みたいな書いた人誰や？何か日本の状態が世界の状態だか、おたくからもらった、何かちらっと読んで、昨日か読んだような気がするな

メンバー：

これですかね？

北野会長：

キャップの切り方、違うから

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

だからねえ、そういうの書いてあったような気がしたって、あと、皆さん頭いいから、ほとんどのこの人のサイト読んで、それでもしわからない事あったら聞いて？俺の方楽やけども、俺が言った事は軽いくらい、この人の場合は、ほう3分しゃべっても、覚えとるから

真田 孔明：

笑

メンバー：

笑

北野会長：

1億、ここ簡単にできるんで、ボタン1つで作るからね、天才的なもんや、あれを実行するだけ、あ、俺は普通の人と俺と何が違うか如果说たら、俺は実行犯やから

真田 孔明：

笑

北野会長：

わかる？わかるやろ？実行犯？まさしく実行犯

真田 孔明：

笑

北野会長：

ね、思い立ったらぴよっとう

真田 孔明：

笑

北野会長：

ね、そういう感じなんやて

メンバー：

うん

北野会長：

節操がない、実行犯、ままだ、食べながら

真田 孔明：

いただきま〜す

北野会長：

マヒマヒか

真田 孔明：

マヒマヒ

北野会長：

あの〜、日本で言うシイラや

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

シイラ、じゃないの？これ？・・・おたくらハワイ来て、不動産屋さん？さっき不動産屋さんって

メンバー：

投資関係の・・・

北野会長：

あ、投資の方？あ～ん、あのね、不動産投資ってのは、孔明さんがよく、あれ買うてこれ買うて、これやってって言うやろ？何となくね、現実には儲かっとなるような感じするんやて現実は・・・ところが蓋開いて金になるまでってのはね、固定資産税払うて、金利払うてやる？

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ね、そういう事一生懸命やっとなるやん、だから俺は、必死に働くのをやめたら楽、ね、したらダメやよって言うのは、そういう事なんやて、ね、俺から言うたらただ無駄な、こう時間とかさ、この俺みたいにさ、ね、趣味で仕事やっとなるんやと、これは全然違うやろ？趣味でやっとなるんやから、労働対価はいらんがじゃ、ね、趣味はお仕事、読んだ？あれ？俺も自分で、うまい事言うなあ俺は

真田 孔明：

笑

北野会長：

毎日言っとなるんやけど、やっぱ文章で読むと、びっくりするよね？

真田 孔明：

笑

メンバー：

笑

北野会長：

で、文章で読むと、あ、文章に読むと何か俺、結構えげつない事をね、人に言うんかなと

メンバー：

笑

北野会長：

最近は多少は、反省もしとります。んで皆さん、あの～さっきあの、簡単に生きた方が楽だっ
て言うのは、そういう事なんね、何かトラブルが起きたと、知り合いの弁護士さんおるやろ？
と、弁護士や、ね、頼めばええんやね、あのね、バカな人ほど自分で真剣に考えるんやで、ね、
脱税したいなと思ったらやっぱ経理士に相談した方がいい、ね、で、「あ、家建てたいな」と
かさ、思ったらやっぱ設計士やろうね？ね、俺はだからそういう大体の分類はしとるんよ？人
間らしく、ね、腹痛くなったらお医者さんと、ね、そういう具合に分類しとけば、すごい簡単
やろ？これからやっぱ文章書いて欲しいなと思ったら孔明さんやなと・・

真田 孔明：

はい

北野会長：

こういう具合に思ったね

真田 孔明：

ありがとうございます 笑

北野会長：

でも頭がいいのか機械がいいのか

真田 孔明：

機械 笑

北野会長：

緻密に

真田 孔明：

機械です 笑

北野会長：

ね、いや俺がさ、この間、ひょっと見てたら、ちょっと、ねえ、うちの人がぱっと見て、「あ
んた！それ何！？」、どう、どうして、後ろから見とるもんで、何かちらっと見たら、何か僕
が使ってる単語が言ったもんで

真田 孔明：

うん

北野会長：

読んだやで

真田 孔明：

はい

北野会長：

読ませいって、だ、「あんたこんなもん、孔明さんとやって」、ばんばんって（言う）、で俺もさ、めまいするが、怖いやん？

メンバー：

笑

北野会長：

あの人俺の2こ先輩やぞ？

真田 孔明：

笑

北野会長：

先輩にもの言うたらね 笑

真田 孔明：

笑

北野会長：

昔からろくな事ないもんで、いつも家にいたら、「はい」と「です」、ほとんどこれ以外言いません、「そうでしょ？」言うたら、「はい」、「これはこうでしょ?」、「そうです」、これが家庭円満の秘訣

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

「はい」と「です」

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

ここら辺でも書いといてくれれば

真田 孔明：

はい 笑

北野会長：

まあ日本経済のね、ね、悪いとこなんて・・・

真田 孔明：

ど、どの部分をご覧になってる

北野会長：

いや～、日掛け月掛けか何か、何かそんなのを

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、言ったやつを見たのか、そんなもん簡単よ、あの性格はほら、ipadでそう、ねえ、孔明やりゃ全部出て来るやで、これ、あんたいつも言っとる事だだだだ出て、あ～やべえなこれ？と思ってさ、いやいや実言うと、孔明さんそこ行って、ワイン2、3本飲んで酔っ払った時にこの話をしたんやと・・・そしたら孔明さんがこう書いたんやと、ね、でこの間たまたま彼の誕生日の日、誕生日やって言わなかった？

真田 孔明：

はい、誕生日です

北野会長：

その日に、その話を持って来て、どうだって言う誕生日プレゼントを、ねえ、渡す物はないから、それ、うん前に進めていいんじゃないのと、言うたのがその、ね、台本になったんやね

真田 孔明：

北野倶楽部で 笑

北野会長：

そう、北野倶楽部、いいねえ、ほとんどはあの、でもそんなにも会った事は・・・会ってないし・・・でも人間ってのは、これだけ、ね、吸収がね、上手に書くわ

一同：

笑

北野会長：

俺が読んでも、びっくりする

一同：

笑

北野会長：

ね、あれ？こういう場合の言葉を使うと、ま、きれいに書いてやから、ね、きれいにやよ、本当に、理解力があってきれいにものを書くというのは、すごいもんやよ、本もやっぱ、いやその人、本も書いとった人やからすごいよね、でもほら、ハワイでさ、海に向かって山に向かって、怖いよね？

真田 孔明：

笑 気功っすか？

北野会長：

そう

真田 孔明：

笑

北野会長：

何かあの、徐々には何でもしゃべる、なるべく何か質問あったら、質問しといて、答えられる分については、難しい算数の計算やとかというのは絶対あかんよ、俺は

メンバー：

笑

北野会長：

いや俺は、俺の知ってるとこだけやから、ね、俺の生き方の中で、ね、で一番好きなのこれなのね、これとこれ、ね、あのね若いうちはね、金が残らんようになってるんやて、ね、何で残らんか言うのと、まず、体が丈夫やから、女に興味あるや、ね、ま、この年で興味なかったらもう廃人だわ、死んだ方がいい

真田 孔明：

笑

北野会長：

こうするとね、俺、だから孔明さんに、初めて会った時も、ね、何かで言ったんやけど、後ろに赤いドレスを着た女おっても問題ないんやて、だ、この女を前に置くと、この女に全部食われてしまう、金が

真田 孔明：
ああ～、はいはい

北野会長：
女がこんな小さくて弱いのに、まだ生物として生きとるやろ？何で？

メンバー：
雄が守ってるから

北野会長：
雄が守っとる、うん、雄が守っとるで合うとるわ、ね、だ、そこにはやっぱ知恵があるわけよ、わかる？男はこの弱い、知恵のない、知恵のある雌に使われとるわけよ

真田 孔明：
笑

北野会長：
だから俺見てみな？もう家に帰ったら、さっきも言ったように、「はい」

真田 孔明：
爆笑

北野会長：
わかる？女ってのはそれくらい、男と違った面があるわけよ

メンバー：
う～ん

北野会長：
ね、だ、知恵の塊みたいなもんよ、俺しょっちゅうあの知恵の光明っていう言葉好きなんね、あれは仏教に、ね、南無阿弥陀仏しか知らんね、でもその本をこう読んでみたら知恵の光明、っていう4文字があるが、光明はだからこの前も言ったけど、光る、明日の・・・

真田 孔明：
はい

北野会長：
あんた、何かテクニックの明日みたいな事を書いとる

真田 孔明：

あら？間違いじゃ？変換が？

北野会長：
だ、光る明日よ

真田 孔明：
はい

北野会長：
知恵の光る明日

真田 孔明：
明日

北野会長：
だから知恵ってのはそこなんやて

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
ね、だから皆さんに言うとかけども、金を仕事して貯めようなんてね、まだ思っとるやろ？みんな？特に何か、そんな

一同：
笑

メンバー：
とても思ってます

北野会長：
そやろ？

メンバー：
思ってます

北野会長：
俺はね、ね、さっきあの、間違っとる話の代表格はあんたやもん、ぱっと見たらわかるもん、孔明さんと一緒に、だから学校で習った事を従順にやっとる人ってのは、そうなるんやて、ね、習った、借金は？早く返せ？

真田 孔明：

早く返せと、はい、一刻も早く

北野会長：

ね、こんな恐ろしい単語、俺、俺、聞いたら、俺が間違っとるか？

真田 孔明：

笑

メンバー：

笑

北野会長：

笑 でもさっき言ったやろ？日銀も借りとりやろ？国も借りとりでしょ？じゃ何で俺だけが返さんといかんのよ？

メンバー：

笑

北野会長：

皆さん、そんな矛盾っちゃあ全然思った事ない？こう一緒に、でも一生は・・

メンバー：

はい

北野会長：

そんなに長い？

メンバー：

短いです

北野会長：

人生じゃ短いと思うよ俺は。だから必死に働くのやだ、だって必死に働きってさ、また必死に借金を返すって、これバカでねえか？って思ったよ

真田 孔明：

笑

北野会長：

それってのはね、気違い沙汰よ？あんた達言うとかけども、日本の国に生活しとるのに、あんた達のやっとなる事は孔明さんと一緒やないかい？いい大学を出て、いい会社に勤めて、借金したら早く返す

真田 孔明：

笑

北野会長：

ま、俺から言うとか気違い沙汰っすわ、そんな矛盾した話ある？住んでる国は借金漬けでさ

一同：

笑

北野会長：

ね、本当そう思わない？朝、たとえば・・・大体ね、あの～、ここ帰って来てから、何週間か遊んをとるんやけど、会った人が俺と話して、少しずれとるんでないか？っていう話をするんやってね？

一同：

笑

北野会長：

ね、で俺は必ず言うの、その時もうすでに、おじさんがずれとるん、俺がまともや・・・これね、軸をずらしたら、軸、人間は、だ、縦軸をずらしたら、ね、絶対生きていけんの、何を動かしてもいいけど、この軸だけは、ね、背筋はぴしっとしてないと 笑 ダメやて、俺、学校で習ったから 笑

一同：

笑

北野会長：

背筋は言い分はね、絶対曲げないの、言い分曲げないと自分がはっきりわかる、相手から見たってのは関係ないの、俺、おじさんの会社に勤めとるわけでもないしね、ね、とやかく言われる筋合いはないと、これが俺の言い分、少年や言われる事については、64にもなって少年はやめて欲しいなと思うんやけど、おじさんの年、上やから 笑

真田 孔明：

笑 70いくつで？

北野会長：

そうそう 笑 70いくつやから、みんな

真田 孔明：

ビジネス、投資やってるんですよね？

北野会長：

やってるやってる、でも、俺と会った人はみんな言うんやけど、どう思ってるかわからないけど、「また会おう」、「会おう」って言うから、ね、機会があれば会って話しましょう、機会があれば・・・それがほう、こう横柄に聞こえる、ね、俺はお前、1,000兆持っとる俺にやぞ？暇があったら会ってやろうって、てめえ貴様みたいな感じなんやて、いや、そんなおんなじじゃってのは、肩は、肩の高さ一緒やて、ね、誰やったっけ？昔、誰かさんが言うたやろ？「天の上に人を作らず、天の下に・・・」

真田 孔明：

人を作らず

北野会長：

そう、一緒やろ？俺、言うてるの？で俺がいつもそういう事言うから、まあ相手も、ちょ、こんなバカに説教しとってもあかんかと、ね、いやたまたま、ね、あの～まあ今年のトリプルエンジン？最終50何%やったからね

真田 孔明：

すげ～ 笑

北野会長：

50、54,いくつか・・・14日の日、俺、東京行った時に55%、こういう事で、こういうバカな事がね、起きる事自身がおかしい、だから俺みたいな奴が、こう、生き残る、何かプリントして来てあげてもよかったけど、あんた達みんな、またね、辛くなるやろ？人生？俺みたいに話聞いて、そうデータが、ねえ、楽天から、こんなバカな話が世の中にはあるんかと思うんや、でも俺も一緒、俺はただ情報入れとるだけやから、「何がいい？」、ただこれだけ、ただ「いや悪いけど、お前、ハワイ行くんならさ、ね、うちの地元の奴、ね、は、一度話してくれんかな？」っていう話したんや、ね、話したの、おじさんと、どこのおじさんか知らないやで？俺も？まあ、話したから、もう、「少年は、どんなもんに投資やってんの？」って言うから、「いや、俺は職業はこんな職業で、ま、投資は大体、ね、東京に入れる分だとこれですね」、「ふうん、じゃ、俺も少し買っとこうか？」言うて、「いや、鉄板らしいですよ」って、この人言うた、俺に、鉄板や、この言葉ね、感動やよな？人に物言う時にさ、孔明から見たらお前、俺、親みたいなもんやよ？

真田 孔明：

笑

北野会長：

こんな親に向かって、お前、鉄板焼きやっちゅうの、ね、あれあの一説にね、この男と、ね、ジョホールバルそんなもん俺にしたらね、ね、カードで買えるような銭や

真田 孔明：

笑

北野会長：

いや本当に、失礼やけど、ね、あのカードで買えるようなもんやで？俺にしたら？そんな俺にお前、いくらメールかもしれんけど、鉄板焼きやっちゅうんな、あんた先輩としてどう思う？孔明には？

メンバー：

笑

北野会長：

そういう教育しとったらやだよ？会社で・・

一同：

笑

メンバー：

鉄板ってあの固いってことですよ？

北野会長：

そう！

メンバー：

はい

北野会長：

でもなかなか人に言えんぞ？「これは鉄板焼きの案件やから」、いや、その書いた文章を見て、まだ会った事ないんやから会った事ないの・・

メンバー：

その時はまだ会った事ない？

北野会長：

会った事ねえ

メンバー：
ジョホールバル

北野会長：
うん

メンバー：
あ、ジョホールバルを鉄板って言ってたんですか？

北野会長：
そう

メンバー：
ああ～、何回も鉄板って言ってますもんね

北野会長：
本当？ 笑 いや、そういう事知らんもんで

メンバー：
トリプルエンジンも鉄板なんですか？

北野会長：
そうそう、いや、そこを書いてあるの？

真田 孔明：
え？

北野会長：
トリプルエンジン 笑

真田 孔明：
トリプルエンジン、あ、ほらメンバー限定の

北野会長：
ああ～

真田 孔明：
限定で

北野会長：

でもあれはね、トリプルエンジンは間違い、あれはね、やっぱ普通、想定にね、やっぱ25%が、ちょうどいいところ、ね、気持ちのいい数字、今年のデータのね、あんたも、あんたのサイトにも45やら

メンバー：

うんうん

北野会長：

俺の、14日、手じまいしたんよ1回・・・何で手じまいせんといかんか言うと俺の場合はあんた等関係ないけど、付き合いがなくなっちゃう、付き合い

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

付き合いわかる？いや、暮れに野郎が挨拶に来て、「ありがとう」、言ったと、そしたら越後屋じゃないけど、こう

真田 孔明：

笑

北野会長：

ねえ、越後屋みたいなもんやで 笑 ね、あんまり言えんけど、犯罪になるから、越後屋はやっぱね、饅頭を差し出さんといかん

真田 孔明：

饅頭 笑

一同：

笑

北野会長：

今は普通の饅頭だけでええて、あのねえ、やっぱ世の中やて本当に、だからまあ、どういの？だ、それをさ、この前、去年、ちょうど1年の暮れにオープンになったわけや

真田 孔明：

うん

北野会長：

こういう人をたくさん作りましょと

真田 孔明：

おお、おお

北野会長：

で、まさしく覚えといて、日本の国家は、金を借りて、ね、投信で儲けてくれる人を育てたい
と思っとるんやから

真田 孔明：

う〜ん、国家政策 笑

北野会長：

国家政策、国家政策、ね、それが日本の、あの、目論見、でもっと簡単に言うから、イギリス
国家になろうとしとるイギリス的な、ね、イギリス、昔は産業革命を起こした国、今まだ煙突
でさ、煙撒いとった、そういうバカな事はしないと、ね、金やて、そうすると今みたいなあ
いう国家ができるわけよ、頭のいい者をこうたくさん作って、でそれを金にしていって、だ、そ
ういう金にする国家を作りたいわけ今、でもっと皆さんにいい、その追い風が吹いとるのは、
地方創生

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

っていう文章がそれぞれ出とると・・・地方を稼がせんといかん、ね、あれは簡単に言うと、地
方に起業する人、ね、起業する人に金を配る「はい、はい、金持ってけ」と、ね、返さんでも
いいとは誰も言わんけど、返してもらっても困る、んなもん、国は、あんなもんね、ボタン1
つ押せば、どんどん作れるわけ

真田 孔明：

笑

北野会長：

そこがね、皆さんわかったらんがね、この一説がこの今日言った、この僕の言った一説がわか
れば、全てがわかる、あのね、金返さんだから言うてね、ね、弁護士の所に頼みに行く必要な
いんやて、誰もね、金持って来ないんやから、チャカ持って来る？「金返さんだから」言うて？
銀行の人の方はもっとネクタイ締めて紳士やぞ？ね、ここが皆さんわかってないとこのゲーム
は成立しないの

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

今の一説を頭の中にだけ、一言叩きこんどいて下さい、あの～一番、弁護士の先生から言うと返さないとこれは悪い事ですって、皆さん教わって来てるからね

真田 孔明：

笑

北野会長：

ね、さてこの、一言が違っただけやねん、ね、金はどんどん借りて下さい、国債にしても日銀にしても、やってる事一緒なんやから別にあんた等だけがね、孔明さんの言う、習って来た通り、母親は返せ言う 笑

真田 孔明：

笑

北野会長：

一生懸命、書いとってもわかんない、人生終わってます。ただね、ずっとこう、30越えるまで、そう習ってるから、なかなかチェンジできないやね？オバマさん言ったやねん？チェンジせいで？チェンジせいで言ったらお前、大統領になれたんやから

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

ええ？こんな簡単な話、あんた等わかつらんっちゃね、よくこういうね、話をおじさん達とすると、まあおじさん達の方は何か、俺の話聞いとるから、ちょっとまあ、はっきりわかつらんなんでないかな？だ、みんなわからんやろ？それでいや、俺が言ったら、だから孔明さんのようにさ脳と胴とがね、こう分離せんように

真田 孔明：

笑

北野会長：

ま、ワインでも飲んで 笑

真田 孔明：

笑

北野会長：

だ、本当にね、分離するんやて、いや私もね昔これ聞いた時にすごい分離してね、脳と胴体が、いや本当びっくりしたよ？うん、んで一番ね、最初に言われた事は、孔明さん書いたか書いてないか知らんけども、あの必死に働くっていうバ、バカげた話よりも、いや私はそんな時に聞いたんやて一言！「日本の金持ちってのは、ね、どんな人が金持ちなの？」って聞いた、そしたらバッチの人が、ね、本当の金持ちはみんな無職なんやと

メンバー：

笑

北野会長：

「え？」って俺も聞いたん、「先生、無職でどうして金持ってるの？」って言ったら、「いや働いとる奴は、金は持ってねえや」、あれ聞いてね、すごい、ね、おたく等の分離ぐらいでねえでな、俺、働きたくない方やったから、すごい悩んでね、次行った時間聞いたんやで、「いや、先生先生、働いてない人ってのは、どうやって金儲けるの？」こう聞いたら、「いや、働かないって無職の人はみんな投資で飯食ってんだよ」って、ね、「そうか、投資か・・・投資ね」そこから不思議になって、こうどんどん、ねえ、聞いていったら今になった

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

だから絶対働かない、ね、投資も特にそうだけど、湿地帯にばいきんがおるわけ、適温に温度を保ってしとくと、どんどん増えるわけ

真田 孔明：

笑

北野会長：

わかる？ 笑 わかる？それが、あの、あれの計算、1,200の24%の10ね、ね、これ皆さん、今12億あったらあんた等の年で、この12億あったら面白いよ、10年経ったら100億や、たった100億やいう事ない、那須のおじさん言うたら、「俺、1,000や・・・1,000や」

真田 孔明：

笑

北野会長：

入れずにやっとなのかい？って聞かん 笑 1,000やて

真田 孔明：

笑

北野会長：

日本円に直すと1,000単位やない・・参ったのう

真田 孔明：

それ、日本人の方なんですか？それ？

北野会長：

そう、だから機械の中に金入れるやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、俺だけのやで、あの機械から、ね、金取っとる奴は・・なんちゅう変わった話する奴やな
と思うてさ、いや、おじさんとも言わんだけど、「いや、どうやって、ね、金引き出すんです
か？」って言うたら、「あ、集まったやつを全部下から取るんや」と、あれ、「ああ～そうい
う事やってんの、悪い仕事やね？」って言うたら、「う～ん、博打ほど、儲かる仕事はないん
や」と

真田 孔明：

日本人なのに、カジノオーナーやってるんですか？

北野会長：

あ！せやで！あれね、みんなね、うちもファンドやってるけど、あれとおんなじシステムとっ
てんの

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

全部の機械を、一人で所有すると、ね、人間やから、たとえば孔明が持っとなら、ね、
そうしたら絶対俺はやるよ？こりゃ？いつか？影で・・わかる？

真田 孔明：

うん

北野会長：

このアメリカ社会、みんなチャカ持っとなるような国やで？

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、そうしたら、そういう事しないわけよ、2、4、6、7、あ、7人で皆さんで協力して、ね、ファンドを作って、分配はきちんとしましょうと

真田 孔明：

へ～

北野会長：

ね、で、これ、機械分、隣のファンドは洗濯、さっき言うたやん？洗濯

真田 孔明：

笑

北野会長：

洗濯、ね、ランドリーの会社作りましょう、ね、で、あの外注にして、外注にして、みんなで1個ずつ、みんな今度1個ずつ、会社であのお土産屋さん、だからシャツ売ったりなんかして、ああゆうの持っとるやねん、それは自分の所有、あとはみんなファンドやで、戦争にならないように

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ゴッドファーザーに1人になると、いつか殺される、殺さんといかん、だからファンドや皆さんも投資はそういう事やから

真田 孔明：

うん・・彼あれなんすよ、ラスベガスでディーラーしてたんですよ、ずっと

北野会長：

本当？ほお～、やっぱ、八百長も習って来た？

一同：

笑 八百長

北野会長：

ええ？

メンバー：

いや〜なかったですね

北野会長：

あのね、どこの国行ってもね、ね、八百長はないっていうのね、ね、博打の世界は全部八百長やよ？

真田 孔明：

笑

北野会長：

いや、八百長の、八百長、トランプのあのこう手品師のおじさんおるやろ？（トランプを切るジェスチャーをする）あれと一緒によ？俺、昔、ソウルに結構、俺はしなかったけど、友達が好きでね 笑 バンカープレーヤー

メンバー：

笑

北野会長：

あれ、こう、抱いとるやろ？これ？あ、下のゲームあるやろ？ゲームちゅうのか、あの〜管理室、下に地下にあるあるやつ？そこ行ったら次ね、あの、紙が・・・カードが表裏一緒に見えるんやから、どういう事？次のカードは5で、管理室から見えるんやで？あれ詐欺でない？

メンバー：

カードに細工がされているっていう

北野会長：

そうそう

メンバー：

ルーレットもたまに細工してるっていうのは、聞いた事あるんですよ

北野会長：

いや、でも手品でご飯食べとる人もおるんやから、あんなもん全部手品やろ？いや、おじさんのさっき言うたやろ？1ドルづつ入れたら、必ず当たるんやと、ね、おじさんいわく、今32、3か35にしたのかわからないけど、1ドルの紙を入れたら、ね、3割か35%ぐらい、ちゃんちやかちゃ〜んって回るんやと

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

1ドルならね、だから人に夢を与えるわけ、でも1ドルしか入れない人はね、そりゃ多少増えてもそのままやっぱ、ほとんど押し続けたりする人もいて

真田 孔明：

笑

北野会長：

隣の人が一生懸命コイン入れるんやて、私の世の中やて、それってのは怖い、俺この間あのおじさんのを、ね、金集めとるのはうちの会社やないて 俺、あの時に思ったよ、下に、ね、2万人とも3万人とも言われる人が、博打やっとなるんやから、でもあの商売が一番ぼろい、機械の鍵1つ持ってるやあ、なんぼでも入る

北野会長：

あと、あんた（メンバー）はほう、ワープロの文章ってのは上手やろ？だ、まず会社作って、孔明さんやったように、何でもいいやで、会社の名前、適当に、ね、あ、そっか、ハワイで聞いたん、あ、この名前か、アズ、アズズ？アヴェイ、これでもいいやん？ね、ま、株式会社にしよう

真田 孔明：

株式会社アズー 笑

北野会長：

そうそう、ね、意味不明、言語明快、で、まだね、まあ今日、このメンバーやから教えてあげっけど、まだね、バカなことを考えてる、俺から言うたら、これまた商売しようとしとるやろ？商売？皆さんもそう思ってるやろ？思っとる？商売？だから違うんやて、そのね、その頭の中のデスクフロッピーを抜かないと、ね、ってそう思ってるんでしょ？

メンバー：

うん

北野会長：

今日来たとき、そう思って来たんやろ？

メンバー：

うん

北野会長：

あ〜、怖いなあ

メンバー：

笑

北野会長：

今日の、孔明さんの文章読んだ？商売して商売して、はい言って？どう言うて書いたの？お前？
商売やって、シャバの奴が商売して、ない、5年で？何%しか生き残れん？

真田 孔明：

ああ〜、商売すると、はい

北野会長：

あれ、あんた書いたんやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

あの文章？

真田 孔明：

そうです

北野会長：

商売して5年で？

真田 孔明：

世の中一般的には、5年で10%しか生き残れない

北野会長：

10年経ったら？

真田 孔明：

1%

北野会長：

え？そんなはっきり言われるの？10年経ったら1%しか生きられんものを、あなた達に彼は薦めと言う事でいいかな？そしたらお前、99%どぼんやから、それの方がお前、詐欺じゃないか〜？

真田 孔明：

あ、それで生き残るためには、こういう方が・・・こういうやり方が必要だと・・・

北野会長：

あ、それを言いたかったわけ？

真田 孔明：

そうです 笑

一同：

爆笑

北野会長：

聞いた？結構やばいよ？この人の話は？

真田 孔明：

笑

北野会長：

だから、何かね、俺、いや失礼やけど

真田 孔明：

書き方がおかしかった・・・

北野会長：

直角なところあるやん？この人も？ね、他言すると日本のあの文章と一緒に、ね、何か責任転嫁を国民にさせようとするような部分があるんでないかなと思って聞いたんやから

真田 孔明：

笑

北野会長：

でも、いやいや、今日来て一番の矛盾点が見つかったと思うから、今日の一番の矛盾点、「商売をする」で、さっきから言うとっても、誰もそれ、気づかんやろ？怖いね、あんた達ね、怖いね、まだ必死に働こうなんて思うとるんやなかるうね？その怖い考えやめてよ？飛び降りるなる最後に、ま、でもね、自分の職業として趣味でやっとなるんやから、あ、弁護士も一緒、ね、

ラーメン屋も一緒、趣味だよ、趣味はお仕事、道楽は貯蓄、好きな言葉は・・・ちびちび使ったり全部そんなに減らないから、借りた金を必死に回すと、商売になっていってしまっ

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

ね、拡大ゲームに入るんやて

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

ね、それとね、商売やっとなとね、俺も商売やっとなけど

真田 孔明：

うん

北野会長：

必ずね、取れないぜ、ね、そういうの出て来る、どんだけ頼みに来たって最後になつたらね、払わない奴は必ずおるんや、ね、こういうとこのね、産業矛盾、なぜかっていう、まあ皆さん、ね、こう商売やってるから、わかると思うんやけど、たとえば、たとえばよ？売上げの3%儲かるとる企業どうだ？どこか知ってる？ま、世界で見りゃ何十社もあるんやけども、売上げの3%で、企業ってのは、ラーメン屋さんに3%、売上げの3%儲かるわな？原価安いから笑

メンバー：

笑

北野会長：

本当？いや、だから売上げの3%を純利益で残す、ね、いや一緒なんやて、まあまあ、仕入れ材料やる？弁護士の先生は3%の原価で97%儲けなや、で今度、売上げ上げるのがしんどいやね？

メンバー：

そう

北野会長：

そうでしょ？

メンバー：

結論、自分の行動分しか、売り上げにならないですから

北野会長：

うん、さすがやっぱ、いい大学出てる

一同：

笑

北野会長：

ね、ってば、そう、今言うたそれだよ、ね、自分のあれ労働対価のや、だ、何々士とは、やっぱ、ね、技術屋やから、ね、技術はだから、労働対価にしかならんのよ、ところが金ってのは、さっき言ったように、シートにばい菌置くやろ？ね、適量やとどんどん増えるんや、これが金の原理や、いや、そこだけははっきり、ね、思っとけば、だから会社として、会社たとえば、皆さん何か、借入れもない方々多かったよね？借金あったのこの人だけや、2,000万

真田 孔明：

弟が 笑

北野会長：

弟が、いやだからはしかいもんやて、で、本当はね、ね、本当は、俺から言うと、ね、正しい話じゃない

メンバー：

はい

北野会長：

考え方として会社がありました、ね、いるのは何ね？決算書や、売り上げってのは、ね、こう、こう振り込んできた金、ね、仕入れってのはこっから出したお金、ね、で経費だからかかった贈与、ね、だから私が、いや、簡単に言うのは、どんな企業でも10から9引きや、1は儲かる、ね、この紙を作るだけなんや、この紙を作るだけ、最後にサインするやろ？ね、そこにさ孔明が3杯ワイン飲んだと、俺は何か2杯飲んだと、そんなの書いてないんやで

一同：

笑

北野会長：

え？おかしくない？おかしくないの？これ？皆さん？もっとおかしい事あるやろ？あんた等、金や金や言うとなつけど、金を動かしたるのは何ね？金を動いとるのは何？最後のカードはプラスチックやで？じゃああんた等、じゃあ金とプラスチックとはっきり、ね、区別がでкинいう

事じゃないの？違うの？あれ、プラスチックで払っとるんやろ？最近電話もよくなって、俺なんか最近、タバコとコーヒー 笑 ね、これさ、ちゃり〜んや、携帯電話が俺の代わりに金払っとるんや

真田 孔明：

笑

メンバー：

笑

北野会長：

え？じゃあ金ってのは何よ？本当の金ってのは何なの？俺から聞くと？プラスチックなの？ただの、この紙な、どっちなん？どっちなんや？孔明が答え出さんとお前答え出んやない、今日の話

真田 孔明：

紙切れ

北野会長：

うん、だから電話帳も、ね、この紙も俺が手品師なら、ね、ドルに変える事ができる、ドルに変える事ができるっちゅう話やで、だから全く、あんた等思っとる通り、持っとるの全く反対で、実体のないもんが金なんや、あんた等持っとるのは、学校で習って来た分だけの能力の中にさ、ね、数字が並んどるのが・・・数字が・・・ね、数字だけが並んどる、連立しとるだけ、で数字に苦しんどる・・・数字に苦しんどる・・・不動産欲しかったら、ね、銀行回ってさ、「私、これ買いたいんだけど」って、融資してくれるものをもらって、ピンハネしとったほうが楽、本当に・・・何で自分が働いて、自分のお金で買うの？んなもん何も買えんよ？なかなか・・・そんな安いもんある？隣の店でハワイでマンションどうや？でもそういう事なん、全てが・・・だから何で、その紙とプラスチックと、ね、知ってる？今？カードが、え〜、グレーとゴールドとブラック、ね、じゃあお前、普通のカードで、ね、あのプラスチックの板にさ、真っ黒にしたら、金、永遠に使えるんかい？って俺、聞きたいよね

真田 孔明：

笑

メンバー：

笑

北野会長：

いや、俺はよ？ 笑 俺はこういう人間だから、何か、ね、俺がおかしいのか、世の中がおかしいのか、普通の人が俺、一番おかしいんでねえかなと思っとるやね？金、そんなに持たない

のに、ね、カード抱いておあいそしとるやで、みんな、今、現金でおあいそしとる人、いる？
ラーメン屋さんならまあ現金でくれるかもしれんけど、カード？

メンバー：

いや

北野会長：

違う、アメリカは本当、ね、そうやね？俺なんか何か買うたびにコンビニとか行ってさ買うたびに、「チェック」って言われてさ、パスポートだいてさ、間違いない

真田 孔明：

笑

北野会長：

それくらい、ね、変なおじさんなの、俺が、特にね、ホテルとかああいうところは誰も言わない、あの、どういうの？3ドル5ドル10ドルほどのところは、みんなチェック変わったね

真田 孔明：

パスポートチェックありますよね？安いABCマートとかね

北野会長：

ね、あ、そうそう

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

コンビニみたいなところで、もっと、コンビニよりもっと小さいところでカードだいたら、全部チェックかかって、この中にパスポートと運転免許証とカードとが入るとる、俺が俺である以上は仕方ない事なんや、俺いつも今日も思うんやけど、「おあいそ〜」言うてさ、ね、出すやろ？カードを・・どこの国行ってもあれで引かなかった事ないねえ、おかしねえ？皆さん、どう思う？あれは俺の信用じゃないわけやろ？どう思う？あれは俺の信用なの？カード会社の信用なの？俺は違うんじゃないかなと思う、俺はあれはプラスチックが信用でないかなと思うんやけど

真田 孔明：

笑

メンバー：

笑

北野会長：

あんな 笑 あんなもん原価いくら？

真田 孔明：

20円ぐらいですかね？

北野会長：

そうやる？

真田 孔明：

ええ

北野会長：

いや、でもたとえばこの中に、1,000万詰める言うたらひどいよ？ね、あの黒いカードなら1,000万まで、すぽっとや、おかしい？という事はお前、一番価値があるのはあのアルミや、プラスチックや、俺のところが一番強いのはやっぱプラスチックやな、これから

一同：

笑

北野会長：

そう思って、あの～まあ、ね、酒でも飲んどらんと、頭がだんだんだん、まともに考えると変になっていくから、だから女は、今後こういかに、頭を使って自分の思い通りに（男を）動かすか、これだけでええんやて

真田 孔明：

笑

北野会長：

そんなね、力もない、で体力もなくて 笑 ね、労働して、金なんか儲ける必要ない、いかにこの男を操って金さえ儲ける事を考えればいい

真田 孔明：

旦那さん、いらっしゃるんですか？

北野会長：

旦那おっても、旦那おらんでも

真田 孔明：

笑

北野会長：

みんな食べたの？ちゃんと？

真田 孔明：

あ、食べましたよ

北野会長：

俺、しゃべっとるとが

真田 孔明：

笑 すいません

北野会長：

俺ね、老人やからね

真田 孔明：

笑

北野会長：

ゆっくりないと、入っていかんのやて・・俺酔うほどにしゃべるから、もうワインの3本も飲んでみりゃもう、俺の世の中俺のだと思うからね、ま、本当はね、俺自身もそう思っとるんやけど、地球儀は全部俺のもんやと、全部や、ね、昨日会った、隣あったおじさん達も俺の方がきつついんやと、ね、なぜきつついか？あのおじさんより俺の方が長生きするんやから、俺がきつつい、一番強いはずとおじさんに言いたかったけど黙っときました

メンバー：

笑

北野会長：

なかなか言えないね？あの、嫌、嫌がらせは？なかなか・・やっぱだからそういう時に、あ、俺っちは本当は、こう何か強い男に見えるけど、結構やっぱ内気、内向的なんやってね？

一同：

笑

北野会長：

いやいや本当、自分で言うのもなんやけど 笑 いや本当に、最後の一言はやっぱ言わないもん、あの、ね、最後ムカッと来てさ、おじさんにね

真田 孔明：

昨日のおじさんっていうのは、どういう方なんですか？

北野会長：

昨日のおじさん、あ！昨日？

真田 孔明：

はい

北野会長：

昨日のおじさん、もっと横柄やからもう話したくないわ

一同：

笑

真田 孔明：

昨日って言うか、そのおじさんっていうのは？それはラスベガスのおじさん？

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

ああ、ラスベガスの、1,000億・・

北野会長：

いや、こっちのおじさんは、いくら持っとるか知らんよ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

で、友達も多いんやで、あの、どう？仕事友達やな、ありゃあ？でもみんな仕事友達やから毎日電話しとるやろ？「ハローハロー」とかさ、「もしもし」か何回か、電話しとるんやて、んで、「いや、日本の少年が来て、え？こういう話持って来たと、本当か嘘か知らないけど、お前24%やて」、那須のおじさんが言っとるんやで、「バカ、お前そんなバカな事あるわけじゃ、ないやないかい？」ってこう言うたやん、ね、でそれが元で、みんな少しづつ買ってみた、ね、だ、去年はああだった、今年は50%ほどや、「お前、少年、そんなバカな事があっていいのか？」

真田 孔明：

笑

北野会長：

「日本の国は間違っとる」言うから、ね、こう金もらってあんた等でいらんなら半分よこせと

一同：

笑

北野会長：

そこは、ね、言えんがね

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

だから、あ～自分長らく内向的なんだ

真田 孔明：

笑

北野会長：

てめえは3億儲かったから言うて、俺に恨み言言ってもらって、俺、迷惑やわな？

メンバー：

笑

北野会長：

え？昨日もおじさんと言うた、50何%って、ね、俺の方も腹立って来たわ

一同：

笑

北野会長：

わからん世の中は・・・でも、私等が改ざんしたわけでもないから 笑・・・あ、さっき言ったけど

メンバー：

はい

北野会長：

あの～、縦軸をずらさんと、ね、縦軸は真っ直ぐね、これね、端ね、端、下のテーブルとこれが真っ直ぐなら、必ず真っ直ぐなんだけど、これを置いといてね、で、まだほう、皆さん小学校レベルやから、まだ行ってない人がおるかもしれんから、ね、もし、あの～小学校1年生2年生3年生と行くんであれば、縦軸は真っ直ぐ、ね、んでこの横軸だけを頭の中に想定してね、今日1月？

真田 孔明：

今日は1月5日

北野会長：

5日

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、自分の人生から見て、この軸が、景気が上がっとるのか？この景気が？上がっとるのか？下がっとるのか？今日の株価は下がった、ね、今日株下がった、さっき見たんやから、俺、今日の株下がった、間違いなく、400、ね、そら昨日のアメリカ、ニューヨークのダウを、ね、津波みたいなもん、すぐ来るんやて、で下がったと、じゃあ明日はどうなるか？ね、これを、あ、裏、あ、孔明の気やな、朝起きたら、こう、手でも上げてさ

真田 孔明：

笑

北野会長：

風はどこから吹いて 笑 何かバカバカしい話になった気が、これがもしわかるようになったら、ね、金は落ちとると一緒や

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

これはね 笑 わかった？あんた達は、ね、孔明を気、難しいから、俺のこれ、な？

メンバー：

ああ

真田 孔明：

笑

北野会長：

金、風はどの方向から吹いとるかだけや、これで金はまだ落ちとるとおんなじや、働いとったらわからんがね？風を見る余裕がないから・・毎日、ね、いっぱいいっぱいやもんな？人生な？そんなにね、余裕、余裕のないもんなの

北野会長：

孔明みたいなのが思いつきで、ね、俺の並べた単語・・

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

あのバカは、日掛け月掛け心掛けとかさ、ね、でもね、あの～、まだ言っていないね、商売の基本は何かいって言うたら、「マメにヨイショにプレゼント」これ孔明でも知らんやろうが？おじさん、書いた事あった？

真田 孔明：

書いた事あります

北野会長：

本当！？

真田 孔明：

あ、マメにヨイショにプレゼント、これは書いてないですね、はい

北野会長：

本当？

真田 孔明：

書いてないです

北野会長：

俺、だから言った、そのね、そう、あの決まってるの、こう、全ての鉄則ってのあってさ、どういうの？商売の基本ってのは、マメにヨイショにプレゼント、もう江戸とか鎌倉時代から、決まっとるんやから、ね、金は日掛け月掛け心掛けともう決まってしまう、この三角形が決まってる、もうピラミッドができる前から決まってるの、こういう事は

真田 孔明：

笑

北野会長：

ね、そういう事、孔明に言うともた、こんなバカめいた話を 笑 文章にするからもっと変になるんや

真田 孔明：

笑

北野会長：

ま、そんな事が多いね・・・でもね、働いてる人にね失礼やけど金持ちはおらんね、やっぱあの～、ね、東京の先生が言うた、ね、全部無職なんやわ、ほとんど、今ね、現在ね、日本で言うと、え～っとユニクロ、それからソフトバンク、え～っと三木谷、楽天ね、あと下の若い衆は全部殺されとっから

真田 孔明：

笑

北野会長：

うん、あのね、あんた達も、う～ん、薄々はわかっとるんやけど、女のやきもちと違って男ってのはやきもちを焼いたら必ず潰してしまうんやて、そやよ？女はね、やきもち焼いてもすぐ男を殺さんのやて、生かしとかんと自分が食べていけんようになっから、こう糸引きはするんやて、でも、素は、ね、女がすぐ腹立って殺した言うのは少ないやて

真田 孔明：

うん

北野会長：

ところがね、後の人は、この水平線から下がってしまっとなやて、本当の金持ちってのは、ね、100億、1,000億持っとる人は、ね、ま、株の株券を持っとるわね、会社の、ね、で株券持っとっても仕事してないから無職なんやて、そうでしょ？で、日本で今一番はやってる事は、社団法人作る事、社団法人勉強しとるやろ？、社団法人とは、所有の、社団法人の中にお金あると、そしたらこのお金は誰のもんか、こう線引いてね、ね、法人の、これを社団法人と言う、ね、だから金、相続で詰まったら、ね、一番いい事は、社団法人作って、その中に入れとく事なんや、ね、だから東京で2万件ほどかな？何か申請が出とるらしいよ？こう、わかった？今の言葉が全てやで？東京にしか金持ちはおらんいう事だわ

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、もっと日本の怖い話のその3、え〜東京都港区に住んでる人の市民税が、3分の1になったと、3分の1、3分の1になったんや、3分の1になった、ね、だ、皆さんはどこ行ったらいいねん？シンガポール？マレーシア？税金の安いところに行ったに決まっとるのや、これが、ね、港区の現状

メンバー：

そうそう

北野会長：

じゃあ港区に誰が住んどったかや、あんな高いところ誰住んどったのやねん？昔からの地主や、ね、あんなもんほとんど、官庁に勤めとったガキどもが住んどったところやねん、それもたかのトップがね？そういう人がみんな、手を振って逃げとるわ、「またね」、またねばっかや、ま、当然香港にも来るやろうし・・・だから我々が今やろうとしとるいう事は、20%のね、所得税をがんがん、ね、払ってやよ？俺なんかお前、うちのを、ね、投資信託から配当金もらっとる、あれね、皆さん、誤解せんといて？あれね、利息やから、あれはね絶対ね、ピンはね必ずされる、あれは利息でもらったんやから、ね、利息、利息言うて配当金やろ？配当金稼いだ日本は、20って決まっとるの、もう、あれは絶対、逃げる事はできん、いかな僕でも逃げる事はできん、という事になると、いや俺は、20、たとえば毎月4,000万か5,000万もらったら、20%って結構でかい銭やよ？ところが外国行って、もしそれがあれば、外国でもいいなと思ったん、で外国にないわけよ

真田 孔明：

うん

北野会長：

で20%どころか、シンガポールで最高がやっぱ11、あなたのおる香港も10%か11%や、ね、ただ1つ、ある国はあったんやと、ね、それはどこにあったかといって言うたら、スペインの端に、エリザベスが持っとる、なんとか言う島、島じゃねえ、半島やったね？

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

で、三角の半島だけ持っとるわね？

メンバー：

う〜ん、スペイン

北野会長：

そう

メンバー：
ジブラルタル

北野会長：

そう！それやわ、ね、おかしね？何であんなところにエリザベスが持っとる？あ、もっとすごいのは、あの～アメリカの下に、なんたっけ？ケイマン諸島言うのがあるやろ？ケイマン、ケイマン諸島、無税国家、あれもエリザベス持っとる、でイギリスあるやろ？でどっか、こう点、点、点、点って何か島がちようこうあるんやて、あの島みんな彼女が持ってるの、だ、左団扇なの、何もしなくても、今一番殺到しとるのは日本の企業、もうシンガポールや、そういう変なところへ行くよりも、ね、献金してさ、口座さえ作ってもらえれば、無税や

真田 孔明：

献金はその場合、どこにするんですか？

北野会長：

そんな、王子に収めるに決まっとるのや、あのばばあに献金なんてお前・・

真田 孔明：

あ、そういうのあるんすか？そういうコースが？ 笑

北野会長：

そりゃ企業ならあるやろ？お前ねえ

真田 孔明：

大きい企業が

北野会長：

そんなお前、細かい銭でも、お前黒いカードお前、こう束にして持ってって 笑 好きなように、ね、使って下さいとでも言わんと、ねえ、こんな鞆で持って、ね、レッカーか何か使って

真田 孔明：

笑

北野会長：

運搬でもすりゃ別やけど、これは大枚の銭やと思うよ？

真田 孔明：

笑

北野会長：

いや、世の中ってのは、もう全部そういう仕組みになってしまつとるんやで、知らない人がね一生懸命働いとるの

真田 孔明：

うん

北野会長：

こういうとこ知らないだけなの

真田 孔明：

それ、聞いた時ショックでした

北野会長：

笑 いや 笑 本当だよ

真田 孔明：

笑

北野会長：

でもね、今の自民党ももう10年しか持たんでね、みんな老人になつとるから、ま、あんた達はわからんけども、もうあんた等ぐらいの世代から、どこに投票すかわからんからね

真田 孔明：

ああ～、そうするともうこのスキームも、あと10年で勝負ですね？

北野会長：

そやよ？

真田 孔明：

う～ん、最後の10年だからこの、今いくらある、調達できるかで決まっちゃうんですね、10年間

北野会長：

あのね、金借りたら、あんた女やから、一言言ってあげられる、「ごめんね、元本は返せないけど、利息だけ返す」と、ちびちびだよ？あれね文章書いて言い訳書書くんやて、そんな時あの、弁護士の先生使って言い訳書を作ってもらって下さい

真田 孔明：

笑

北野会長：

ね、いや、かくかくしかじかで、その元本返済はできないと、しばらくは今まで本当は1年間だけやと思って、本当は借りたいんやて契約書では、ね、ほんで1年もう無理だから、先生

真田 孔明：

笑

北野会長：

ね、2、3年にしてもらえんかと、3年引っ張ってみいよ、でかいよ？そやろ？ね、利息もその、今の1.5%えぐいと、だから半分の0.5にしてくれって事で、先生に書いてもらうわけよ、ね、やっぱ弁護士の先生書いたもんはやっぱ実体をこうよく見とると、ね、ま、いいだろうという事で課長がパンとハンコを押したら、金利は0.5、返すお金は3年間猶予と、3年経ったらまた言やいい

真田 孔明：

笑

メンバー：

爆笑

北野会長：

とりあえず、ね、時を・・時節が悪いんやと、自分は頑張っとなると、ね、これくらいの芸が打てんとしてね、金持ちになれんよ？

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

最低、俺が言った、これくらい頭の中に入れとかんと

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

そんなお前、さっき孔明言った、10年商売やったら、お前、ねえ、1%しか残られん言うたら、ほとんど皆殺しやん？そやろ？

真田 孔明：

世の中、結果的にそうなっちゃってるんで、あの、これまでに

北野会長：

それはでも正しいん

真田 孔明：

うん

北野会長：

だから商売なんてね、ね、言っとるやん最初っから、あんなもん真剣にやってりゃお前、すぐとぶぞ？俺なんかね、40数年こう商売やっとな、何でつじとか、こうこのあやふやさのやて、緊急事態は全部俺が出動する言うたんやけど、システムやから・・・システム・・・あの車も、真ん中のあれ踏んだらとまるやろ？それで右のやつ踏んだら、まっすぐひゅって行くやん？あれはシステムで作ってあるんやろ？

真田 孔明：

うん

北野会長：

理論的な俺の話やよ？ね、だから働くよりも、次の出店するから言うて、金借りてきた方が楽やっちゃうの、わかる？あのね、皆さん、本当なんやて、書いた物を実際に店舗作りますって書くやろが？ここにこう借りてな、ね、で金は借りたと、ね、最後に言やいい「店舗貸してくれないんだ」、店舗貸してもらえんだ、それでお前、相手、金融機関も弱るやろ？おいよ？そやろ？せっかく貸した日数、「すいません、ねえ、すぐ返しますよ」言うて困るわけよ、金融機関が一番嫌う事は、貸した金をすぐ返すや、これが一番嫌われるんや、わかった？だからここでやろうというタイミング、予定が、このなくなっちゃうんやと、ね、ねえ、でも、ねえ、もう1年据え置きやから、まあ持ち主をね説得して、一年後にはきっと、まあええようにせんなんと、これだけでもう1年ぐらい猶予でせん？

真田 孔明：

笑

北野会長：

1年間据え置きやと言わんと、せめて2年ぐらいにして・・・

真田 孔明：

確かに

北野会長：

金なんてしたら、これくらい簡単なんやで？

真田 孔明：

うちの弟、あれなんですよ、社会人になってから、農業しかやった事なかったんですよ

北野会長：

おお～

真田 孔明：

それで6月に辞めさせて、7月、あの11月、3ヶ月間だけね、あの、バイトさせたんですよ、あの～物販やってますっていう実績を作るために、服を売ってた

北野会長：

笑

真田 孔明：

あのバイト、それ3ヶ月で辞めさせて、で11月の7日に、創業したんですね、会社を株式会社を作ったんですよ、で、12月の末までに2,000万円振り込み

北野会長：

ああ～、すごいじゃん、だからあんたのあのフェイスブック見てさ、俺、びっくりした人多いと思うよ？でもね、これだけする人が、ほとんど目一杯で、次の知恵がないから、あれ

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

ね、また、このこんだけはいかい孔明さんが、まだアメリカと何やら仕入れの電話をかけて、おい、俺、全然英語、一文字も読めんだけど

真田 孔明：

笑

北野会長：

ね、何の事言うとするのかわからなかったけど、商売しようとしとるわけ、ね、お前ね、商売したらね、99%死ぬ事をお前が自分で挑戦する言うんやで？

真田 孔明：

笑

北野会長：

俺は、ね、知り合いとして、友人として

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

ね、いや、はっきり言うけど、俺、でも、そういうバカな事して欲しくない

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、それよりも

真田 孔明：

うん

北野会長：

まあ表面上、たまだけこうやって回しといてさ、ね、それで全然、全部トリプルエンジンでも
買うて置いとく、な〜んもせんでも、毎月日が・・こう日が経てばさ、がちゃん、がちゃん

真田 孔明：

笑

北野会長：

ね、そんなわけのわからん商売してやぞ？売れっか売れんかわからんもんを仕入れてる、ね、
それこそあやふややで？あんた達もよう覚えて、あやふやの今度、話しおてあげっから、ね、
あんた達は恋愛やとか言うて思っとるやろ？ね、ね、愛は一番あやふや、覚えといて、ナンバー
ワンがあやふやの愛、わかった？あんたみたいに青白い人が大体ね、愛に溺れるんやから

真田 孔明：

笑

北野会長：

愛に溺れたら最悪、どんな大金持ちでもね、愛に溺れたらもうすっぽんや、ぽんすけ、で次に
恋に溺れる人

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

ね、あれ恋しい恋しいと思ってね、ね、だんだんだん深みにこう落ちこんでいくんやけど、ね、そんなお前、恋愛っていう、愛はあやふや、ね、恋は恋しい恋しい言うて、勘違いしとる

真田 孔明：

笑

北野会長：

酔うと結構、面白い話するやろ？

メンバー：

笑

それとね、あ、今年の4月、4月いっぱいから、元本を返す、返さなくていいようになったが、法律で・・・

真田 孔明：

笑

北野会長：

ええ～銀行、銀行が、銀行が不良債権として、ほとんどほぼ処理が終わった、悪い奴に貸しとるお金は全部終わった、ね、それで4月1日からは、利益が出て、今まできちっと返してきたお客さんについては、ね、元本を返さなくて、そのまま利息だけ取りなさいと

メンバー：

すげ～

北野会長：

いう時代に変わりました、これがまあ一番のチェンジやね？これが一番いいのは、ほう元々そういう事やってた、私はなあ、あんま、ま、たいした事ないなとは思ってたけど、俺なんかほう、元々でね、そういうタイプやから、いただきます言うタイプなんやで、いや、ここのおあいそでも最後に、プラスチックで、「お願いします」言うたら、「はいはい」でOKで、みんな大丈夫やで、これ払わんだらどうなるの？やっぱ無銭飲食かなんかで？

メンバー：

いや・・・まあ払わないといけない義務が起こった状態で、何にもならない

北野会長：

債権ってへたら、債権が残っただけで

メンバー：

そう

北野会長：

ほお～

北野会長：

あ、債務が残っただけで、皆さん、いい人と出会ったね、今から、ね、メールで聞いた方がいいよ？

真田 孔明：

笑

北野会長：

いやだから、みんなね、それぞれに知恵があるんやから、知恵を出し合えば、そやる？あんた言うたよね？

真田 孔明：

はい

北野会長：

今から10年ぐらい前に、あの投資信託で、野村證券がヒット打ったわね？え～ハイイル、ハイイルドっていう商品を出したん、それが爆発的に売れたわけよ、で、その商品売るために国会へ行って紙を撒いた、「先生、こういい商品あっから」、250円、月の配当が・・・12ヶ月で30%、ね、だから、ね、手数料、買うたびに私は3%のまず、3%、1億で買ったら、まず1億や、紙を買うたら、300万手数料、野村に取られて・・・バッチにもいれるやろ

真田 孔明：

バッチ！笑

北野会長：

で、手元に残ったのは、ね、違うんやて、これ、ね、それからこうだんだん気持ちが変わってきてね、でその内に、あの～どういふの？今のこの時代に入って、一番変わった事は、手数料はいらなくて、仕入れが、仕入れするにも手数料いらん時代が来た、これが今の、その時代の変化やね？

真田 孔明：

投資買うのに、何も手数料ないって事だよな？

北野会長：

そうそうそうそう

真田 孔明：

0%

北野会長：

昔は3%ね

真田 孔明：

売る時に

北野会長：

うん、わし等、初めて買い始めた、3分や言って、手数料は、で、バッジにも手数料やろ

真田 孔明：

笑

北野会長：

手数料ばっかや、だから不幸な時代を生きて来たわけよ、ところが今は情報化社会やから、もっと簡単になったわけや、でそれと携帯電話と、どういの？ipadと2つあれば、もう何でもわかるやん？何でもわかるわ、ね、で言いたい事も口で言わなくていい、うん、孔明みたいにメール打ってさ

真田 孔明：

笑

北野会長：

ちゃ〜んって、その瞬間に俺のところに来るんやからね、怖いシステムやて

真田 孔明：

笑

メンバー：

笑

北野会長：

こうみんな、都合の悪い事は言わないの、俺に、みんなメールや、わかる？都合の悪い事は、全部メールにしとくんや

メンバー：

うんうん

北野会長：

敵も考えるけど、俺も考えるんやて、畜生！こんなもん、放っとくわけにいかんから俺も、メールで返したろうと思ってさ 笑 先に考えとるんやけど、メールも、年いっとるから、手が動かんやで、「ああああ」言いながらさ、探さんでボードを・・・だからしんどい、でもね、あの、去年、楽天の株は倍になった

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ね、鳩がこう出て来た、俺は出せんよ？でもあこらはもう、楽天の三木谷さんは、ね、安部さんの諮問委員会に入ってやったが、ね、安部さんって誰か知っとるやろ？ね、そしたらさ、野村證券が600円か700円や、株、ね、楽天は600円、500円から600円ほどをこう、行ったり来たりした、諮問委員会に入ったら、ロケットだぜよ？右45度こう飛んどるんやて、おかしい？誰が買ったんや？誰が？誰が買ったんやねん？株ってのは、ね、買うもんが余計おるから、あれ上がっていくんやで？誰が買ったやん？だ、本当聞きたいわ、いつか、これも内緒やから、そんな事は聞かへんって、ね、「まさか日銀が買ったんだ！」そんな事言ったら

一同：

笑

メンバー：

そんな事ないですよ？

真田 孔明：

笑

北野会長：

そんな事言ったらすぐ、ね、明日も元気で生きとられて

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

だから、楽天のトリプルエンジンが上がるわ、ね、ま、正直な話言やあ、ね、ま、出来レース・・・誰かさんが言うじゃん、「薬も、あの、インターネットで売る事ができるようにせんなら」言うたら、法案が通らんわけや、でそれ言ったや、「ああ、なら俺、辞めるよ」、「じゃ

あ俺辞めるよ」弁護士雇って、お前弁護士の先生をお前の、ね、けつ持たん言うとのと同じやから、昔ね、オリックスっていう会社あるんやて

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

あの会社もね、小泉さん時代に、諮問委員に入っとったんや、あ、皆さん知っととる、いや〜いや、これは過去の事やから、昔アイフルとかさ、金貸しの名前だか知らんアイフルやる？プロミス

真田 孔明：

あと香港に逃げたの、誰でしたっけ？

北野会長：

武富士

真田 孔明：

武富士

北野会長：

武富士、これ全部なくなっとるんやん、この2社は日本におるけど、え〜、1つは三井住友が取って、もう1つは東京三菱が取っとるんやで、この金貸し、全部食われたがね

真田 孔明：

うん

北野会長：

全部食われた、ね、で、全部、銀行が持っとるんやで、銀行が持ってるの、なぜか、ね、でもどっかだけは生きとるんやったな、オリックスは何となく、オリックスなんや、まだ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ね、他のはみんな死んだんやで、彼は生きとる、ラーメン屋1件だってはやるぞ、そやろ？一緒やん、原理は、簡単なんや、だ、理論なんてのは簡単や

真田 孔明：

あと、野球チーム持ってますよね？オリックス？

メンバー：

イチローがいた・・・

真田 孔明：

ええ、みんな野球チーム、なんか共通点ある 笑

メンバー：

何か鷹も鷲も持ってる

真田 孔明：

だよな 爆笑

メンバー：

誰かが、はげたかって言ったって言う 笑

真田 孔明：

笑

北野会長：

はげたかファンド、彼は、あ、わし等のいるショッピングモールとか、一戸建てのマンションとかは、東京のはげたかから買ってるの、だ、はげたかを俺が握るやろ？「ちょっと約束せい」、だ、はげたかが俺に言うんやて、「あんたの方がはげたかや」って

メンバー：

笑

北野会長：

ええ？「こら、お前ちょっと、ね、冗談きついぞ」と、こう言うんやけど、相手はほら従業員や、ね、で、お前、でもその会社の事、人はさ、はげたかって言うんやて、ね、で、はげたかの従業員が俺の、俺にさ、「いや～あんたの方がはげたかみたいですわね」って言うから、「バカ野郎、お前、いい加減にしとけ」と、こう言うんや、ね、でも俺はさ、テナントもマンションも、ね、老人ホームも何かいっぱいこう持っとるんやけど、金出すのはでも俺じゃないよ、んなの全部借りた

真田 孔明：

笑

北野会長：

何で自分の金なんてお前、財布から出す？おとましい。それこそ無駄や、自分の金あんま使わんし、あのね、金使わんから金貯まるんやよ？これね、金はね、ね、ま、飲んだ席、バカな事言うけども 笑 金はね、寂しがり屋やから、1人で置いとくと嫌がるんやて、寂しいからって逃げて行くんやて、だ、金はね、金をたくさん持ってるとこに来るんやで、で、そう言ったら幼稚園みたいなもので、友達いっぱいおる、「わ〜っ」って

真田 孔明：

笑

北野会長：

楽しいんやで、エンジョイや、だからアメリカへ来るとチップとエンジョイが多いや

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

単語は

真田 孔明：

笑

北野会長：

だからおじさんが、俺に言うわけよ、少年に、ね、自分がチップもらった事ないけど、少年にはチップ払わんなんな、もうチップ言われて 笑 俺も怒る訳にいかんから、ね、チップ見とらんから「ありがとう」言えんけど 笑 でもすごい面白い会話やろ？ね、自分は機械で、機械から自分は、がさっと撮るけど、チップもらっとらんっちゃうねん、こいつめ、俺もむかついてね

メンバー：

笑

北野会長：

笑 次の言葉がよかったちゃ、「少年にはチップきっとかな」って

真田 孔明：

おお〜

北野会長：

いや、何かそのすらっと来る、そのね

メンバー：

笑

北野会長：

落差の違い

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

何か、あ、滝の流れだな言うような、あるさ何かね、いや、さすがやっぱ商人やなど、いやそんな時思ったっちゃ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ま、1つのこの考え方の話やから

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

俺くらいこうばらばらな話すると、ま、帰って寝る時に、「いや！何も来たか？」ワインもはっきり飲まんだし、何聞いたかはっきりは覚えてないかもしれないけど、まあわからん事あったら、まあ孔明さんに聞いて、ま、でも、売上げの上げ方と仕入れの仕方はわかったやろがじゃ、ね、左から考えたらあかんよ？右の赤いところから考えにや、赤字はあかんよ？黒字にせんと、こういう具合に覚えとくと楽なんや、そんな、まあバカでほどのゲーム作るんやけど

真田 孔明：

実際に物は動いてるんですよね？

北野会長：

そう、物なんてね、銀行にしてもどこにしても、だ〜れも興味ないが

北野会長：

5を10にせんなど、いや3にしたらおかしいんで、ここら辺がね、何か孔明としゃべったたらね、時間が余計かかる

真田 孔明：

あ〜そう、すいません 笑

北野会長：

で俺、そのたびにこう酒飲むやろ？で、その内酔っ払って、何言っとったか全然覚えておらん

一同：

笑

北野会長：

これがまあ、犯罪なのか？いいのか悪いのかは別としてひでえわ、あのね、ワインでもね、3本も飲んでれば結構酔うよ？俺なんか朝起きて、いや、どうやってホテルまで帰ったって全然覚えてないもん、ま、それくらいこうやって、ほら、バカじゃべりするからやな、で、うまい事聞くからさ、俺もつい

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

あ〜だこ〜だあ〜だこ〜だって、ですぐわからんのやからほう、後ろにまた文章付け加えるんのやろ？

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

こう少量をつけて、こうしゃべると、それを文章にするとは思いませんからさ

真田 孔明：

笑

北野会長：

いや「これ、書いていいですかね？」みたいな事言う、「おお、いいよ」って、次の日はもうメール来てんで

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

こんな文章・・・これってどうなの？先輩はどういう具合にこう、指導して

真田 孔明：

笑

北野会長：

こういう事さしてるのよ？何か昔、美人局っていう事件あるやろ？

真田 孔明：

笑

北野会長：

美人局、何か似てるんでないかなと思うんやけど？

メンバー：

笑

北野会長：

部屋に入ったら、ね、女と寝てたりとか「その女、俺の女房だよ」で「金よこせ」言うて、あれ美人局だけど、孔明の何かよう似とるよね？

メンバー：

何ともやりようがない

北野会長：

やりようがないよのう

真田 孔明：

爆笑

メンバー：

車とか貴重品を取り上げられて、脅かされたり

北野会長：

ああ～、今度孔明さんもちょうと、手伝って

メンバー：

笑